

# 統計データ利活用センターの 取組について

令和2年1月23日

総務省統計局・独立行政法人統計センター  
統計データ利活用センター



# 先進的なデータ利活用の拠点「統計データ利活用センター」

平成30年4月1日に、先進的なデータ利活用の推進拠点として、和歌山県内に「統計データ利活用センター」を開設し、ICTを活用して高度なデータ解析を実現する統計マイクロデータの提供を開始。和歌山県と協力し地方創生に貢献

## 統計マイクロデータの提供

- ICTを活用し情報セキュリティを確保しつつ高度なデータ解析を可能とする環境の構築
- オンサイト利用の普及啓発
- 各種データアーカイブの整備 など

## 統計データ利活用センター “先進的なデータ 利活用拠点”

- 地方公共団体との共同研究（データを活用した行政課題の解決）
- 民間ビッグデータ活用等の委託研究
- 地方公共団体への利活用支援 など
- データサイエンススキルの向上支援
- 統計データ利活用に関する研修会の実施 など

データサイエンス・EBPMに  
資する統計データ利活用推進・支援

統計データ利活用に関する  
人材育成

## 【規模】

統計局・統計センター職員、大学等からデータサイエンティスト（非常勤）など十五名

## 【設置場所】

南海和歌山市駅ビル  
（和歌山市東蔵前丁）  
（和歌山県データ利活用推進センターと同じ）



## 働き方改革

- テレビ会議システムの導入
- 個人用デスク撤廃
- テレワークの推進 など

# 「統計データ利活用センター」2019年度の取組

## 1. 統計マイクロデータの提供

統計マイクロデータ活用の新たな仕組みであるオンサイト施設を運営し、統計マイクロデータを提供することで、地域の課題解決や発展を促すための環境を整備

### ① オンサイト施設の運用管理

ICTを活用し情報セキュリティを確保しつつ高度なデータ解析を可能とするオンサイト施設について、円滑な運用管理を行う

※改正統計法の施行（令和元年5月）にあわせ本格運用開始



オンサイト施設

### ② オンサイト施設の全国展開

オンサイト施設の全国的なネットワークを構築するため、全国の大学や研究機関に対して、オンサイト施設設置に関する積極的な働きかけを行い、オンサイト施設の普及を推進する

※現在、一橋大、多摩大、情報・システム研究機構、新潟大、群馬大、滋賀大、京都大、大阪大、神戸大、統計データ利活用センター（和歌山）、統計センター（東京）、中央合同庁舎第2号館（東京）に開設

### ③ 統計マイクロデータ利用ポータルサイトの構築

ユーザーの利便性向上を図るため、統計マイクロデータの利用に関する様々な情報を集約し、ユーザーに提供するためのポータルサイトを構築（令和元年5月開設）

#### オンサイト施設

- ・データを用いた先進的な分析が可能
- ・ICTを活用し情報セキュリティを確保
- ⇒新たな社会経済価値を創出・発信



入退管理のされた  
セキュアな専用室

## 2. データサイエンス・EBPMに資する統計データ利活用推進・支援

データ利活用の先進事例を創出するための研究、地方公共団体への統計データ利活用支援等、データサイエンス・EBPMに資する統計データ利活用を推進

### ① 地方公共団体との共同研究（データを活用した行政課題の解決）

地方公共団体と共同研究を行い、行政データや民間データを統計データと組み合わせて活用し、行政課題を解決する取組を進め、データ利活用のリーディングケースを創出

| SAMPLE | 項目A | 項目B | 項目C |
|--------|-----|-----|-----|
| AB10B0 | 1   | 0   | 0   |
| AB10B1 | 0   | 1   | 0   |
| AB10B2 | 1   | 1   | 1   |
| AC00A1 | 1   | 0   | 1   |
| AC00A2 | 0   | 1   | 1   |
| AC00A3 | 0   | 0   | 1   |
| AC00A4 | 0   | 1   | 0   |

行政データ



統計データ



地方公共団体との共同研究・相談例

### ② 地方公共団体への利活用支援

地方公共団体のデータ利活用支援サイト（Data StaRt データ・スタート）の構築（5月開設）や、統計データ利活用相談への対応等、統計データ利活用支援の取組を進める

### ③ データ利活用に係る地方公共団体表彰

地方公共団体におけるデータ利活用・分析を推進することを目的として、優れた取組を行う地方公共団体を表彰



地方公共団体のデータ利活用支援サイト（Data StaRt）（構築中：イメージ）

## 3. 統計データ利活用に関する人材育成

E B P Mに資する公務員向け研修会、ビジネスパーソンを対象とした統計オープンデータ活用の講習会の開催等、データサイエンススキルの裾野を広げる取組を展開

### ① E B P Mに資する公務員向け研修会

統計研究研修所と連携し、E B P M実現に有用なカリキュラムやデータ分析の実践的な内容を盛り込んだ公務員向け研修会を開催



統計データ利活用研修会

### ② ビジネスパーソンを対象とした講習会・セミナー

ビジネスパーソンを対象とした統計オープンデータ（e-Stat、jSTAT MAP等）活用に資する講習会・セミナーを開催

### ③ 統計を活用したプログラミングイベント

若年層に統計やデータサイエンスへの興味を持ってもらうため、統計を活用したプログラミングのイベントを開催（全国12箇所で開催）



キッズ統計プログラミング in 和歌山

# (参考資料) 統計データ利活用センターの 取組状況について

令和2年1月23日

総務省統計局・独立行政法人統計センター  
統計データ利活用センター



# 先進的なデータ利活用の拠点「統計データ利活用センター」

平成30年4月1日に、先進的なデータ利活用の推進拠点として、和歌山県内に「統計データ利活用センター」を開設し、ICTを活用して高度なデータ解析を実現する統計マイクロデータの提供を開始。和歌山県と協力し地方創生に貢献

## 統計マイクロデータの提供

- ICTを活用し情報セキュリティを確保しつつ高度なデータ解析を可能とする環境の構築
- オンサイト利用の普及啓発
- 各種データアーカイブの整備 など

## 統計データ利活用センター “先進的なデータ 利活用拠点”

- 地方公共団体との共同研究  
(データを活用した行政課題の解決)
- 民間ビッグデータ活用等の  
委託研究
- 地方公共団体への利活用支援  
など
- データサイエンススキル  
の向上支援
- 統計データ利活用に関  
する研修会の実施  
など

データサイエンス・EBPMに  
資する統計データ利活用推進・支援

統計データ利活用に関する  
人材育成

## 【規模】

統計局・統計センター職員、大学等から  
データサイエンティスト（非常勤）など  
十五名

## 【設置場所】

南海和歌山市駅ビル  
(和歌山市東蔵前丁)  
(和歌山県データ利活用推進センターと同じ)



## 働き方改革

- テレビ会議システムの導入
- 個人用デスク撤廃
- テレワークの推進  
など

# (参考) ミクロデータ (調査票情報) とは

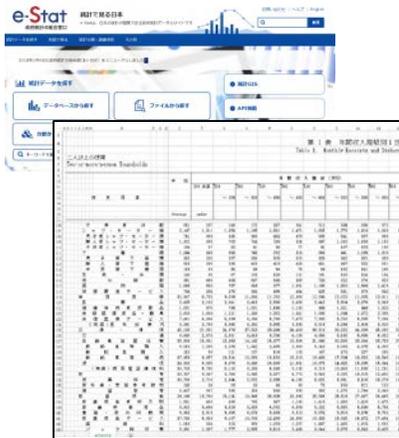
総務省など国の行政機関で実施した統計調査の結果は、ホームページ (政府統計の総合窓口 e-Stat) 等を通じて広く一般の方にご利用いただいています。

このような調査結果の提供に加え、公益性のある学術研究等にご活用いただくため、**調査対象の秘密の保護を図った上で、世帯単位や事業所単位といった集計する前の個票形式のデータ**を提供しています。

この個票形式のデータを**ミクロデータ (調査票情報)**と言います。

ミクロデータ (調査票情報) を用いることで、研究者の方々は、より自由で多様な分析を行うことが可能となるため、新たな発見につながることを期待されます。

## ミクロデータ (調査票情報) のイメージ



行政機関による  
集計・公表

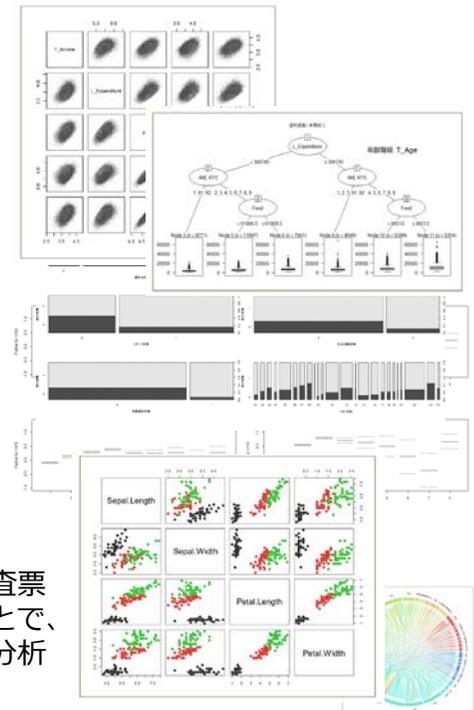
行政機関は、ミクロデータ (調査票情報) を集計して、調査結果を作成しています。調査結果は、「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」等を通じて公表・提供しています。

<https://www.e-stat.go.jp/>

|          | Weight | Y_Income | L_Expendi | Food  | Housing | LFW   | Furniture | Clothes | Health | Transport | Education |
|----------|--------|----------|-----------|-------|---------|-------|-----------|---------|--------|-----------|-----------|
| 895.2667 | 3917   | 201649   | 47756     | 16028 | 9652    | 6702  | 8088      | 726     | 21546  | 0         |           |
| 895.2667 | 6675   | 166381   | 34054     | 7416  | 26313   | 17062 | 6989      | 7637    | 20773  | 0         |           |
| 895.2667 | 6706   | 259736   | 84501     | 1927  | 10082   | 6741  | 5090      | 11015   | 53372  | 0         |           |
| 895.2667 | 2790   | 114511   | 41664     | 730   | 22358   | 5413  | 1205      | 5049    | 17411  | 0         |           |
| 895.2667 | 2577   | 193505   | 56981     | 3779  | 28747   | 4812  | 4243      | 751     | 16435  | 0         |           |
| 895.2667 | 3452   | 152109   | 34924     | 3418  | 8131    | 4164  | 6970      | 4247    | 47698  | 0         |           |
| 895.2667 | 3233   | 136900   | 49956     | 203   | 15429   | 3659  | 22843     | 4365    | 8684   | 0         |           |
| 895.2667 | 9252   | 192439   | 68882     | 2832  | 23042   | 2598  | 5714      | 2052    | 37006  | 0         |           |
| 895.2667 | 2359   | 138415   | 53591     | 753   | 13072   | 5140  | 1786      | 5416    | 11593  | 0         |           |
| 895.2667 | 2059   | 79179    | 32853     | 14134 | 7977    | 3017  | 2364      | 1607    | 7630   | 0         |           |
| 895.2667 | 2324   | 243835   | 60528     | 28118 | 16392   | 4652  | 10759     | 37060   | 17666  | 0         |           |
| 895.2667 | 4524   | 241539   | 104433    | 5253  | 40637   | 7711  | 13833     | 3853    | 43003  | 0         |           |
| 895.2667 | 4415   | 207854   | 95504     | 7687  | 13801   | 19702 | 7239      | 3939    | 9547   | 0         |           |
| 895.2667 | 4162   | 185110   | 59798     | 565   | 12146   | 14552 | 12301     | 2486    | 26726  | 0         |           |
| 895.2667 | 16647  | 219935   | 81572     | 3704  | 21164   | 4944  | 10282     | 6573    | 7103   | 0         |           |
| 895.2667 | 6760   | 176625   | 43112     | 5013  | 11780   | 1697  | 3008      | 4836    | 12295  | 848       |           |
| 977.1795 | 6614   | 130803   | 32336     | 3149  | 14723   | 21002 | 12075     | 3447    | 24273  | 140       |           |
| 977.1795 | 6849   | 395294   | 66755     | 9524  | 19962   | 19777 | 10598     | 7398    | 56370  | 80        |           |
| 977.1795 | 6813   | 284803   | 86655     | 13479 | 15121   | 22966 | 1134      | 3649    | 84535  | 551       |           |
| 977.1795 | 6595   | 260459   | 46614     | 1646  | 15044   | 6415  | 16207     | 3709    | 76074  | 69        |           |

※データは擬似データです

ミクロデータ (調査票情報) を用いることで、より自由で多様な分析が可能になります。



# 統計マイクロデータの提供

- 情報セキュリティを確保しつつ高度なデータ分析を可能とする環境（オンサイト）を構築し統計マイクロデータを提供。  
利活用センターを拠点にオンサイトを全国展開



※統計マイクロデータ：統計調査などで集められた、集計される前のデータ。  
集計データではなく統計マイクロデータを用いることで、より多様で高度な研究分析が可能となる

- 各地のオンサイト利用を支えるシステムを利活用センターにおいて運用管理
- 利活用センターがユーザーとの窓口の役割も担い、マイクロデータ分析の中心に



## これまでの取組・成果

### ○統計データ利活用センターを拠点とした オンサイトネットワークの拡大

利活用センター開設前  
3機関

9機関  
(12のオンサイト)

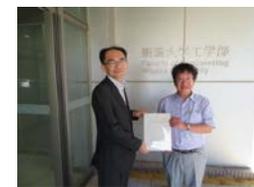


行政機関として  
 ・利活用センター（和歌山）  
 ・統計センター（新宿区）  
 ・中央合同庁舎第2号館（霞が関）  
 にもオンサイトを開設

オンサイト利用は、元年5月の改正統計法の施行にあわせ本格運用を開始。  
法改正により利用が拡大されることを見据え、引き続き更なるネットワークの展開を図る



（大阪大学）



（新潟大学）



（多摩大学）



（京都大学）



（群馬大学）



（情報・システム研究機構）

# 統計マイクロデータの提供

- ・令和元年5月からの本格運用に向けたマイクロデータのオンサイトでの試行検証を実施
- ・オンサイト設置大学の研究者を中心に、統計マイクロデータを用いた研究を実施中

## これまでの取組・成果

### 研究タイトル・概要

労働供給と資産選択を中心としたマイクロシミュレーションモデルの構築

育児や子供の生活と社会階級や家族構成との関係

家事労働の性差分析、経時変化とその要因分析

転出先都道府県や転出先での仕事の状況の把握

社会生活基本調査の観光分野への活用

介護離職の要因分析

社会生活基本調査の層別分析

空き家対策の分布推定、将来推定

食品ロスの地域特性分析

人口移動の状況・要因・経済効果等の分析

匿名データ作成のための検討

全国消費実態調査に関する統計値・集計表の作成

- 平成30年度は、オンサイトにおいて12件の研究プロジェクトが開始

統計データ利活用センターオンサイトにおいても、和歌山大学・和歌山県のほか、徳島県や京都府からもマイクロデータ分析

- 統計データ利活用センターにおいて、マイクロデータ利用に係るセキュリティの確保とともに研究者のサポートを実施

# 統計マイクロデータの提供

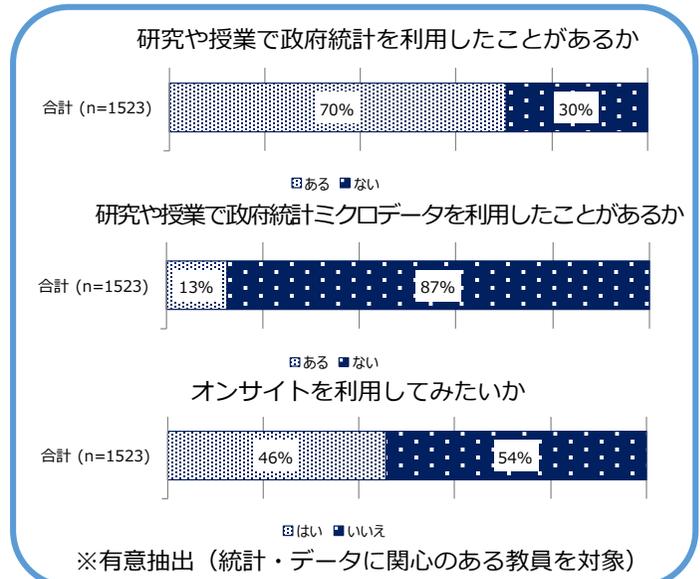
- ・マイクロデータを用いた新たな発見を促進するために、オンサイトの普及啓発を進め、全国各地の大学等や研究者への周知を図る必要
- ・また、ユーザーニーズを把握し、オンサイトの改善を進めていく必要

## これまでの取組・成果

- 全国のオンサイト未設置の全ての大学・短期大学・高等専門学校に対し、オンサイト利用についての周知とともにオンサイトの設置に係る意向調べを31年2～3月に実施
- あわせて、所属教員に対しても、オンサイトに対する周知・ニーズ把握を実施  
(日本経済学会ホームページ・日本統計学会メーリングリストを通じても周知)



- 694名の教員から、オンサイトを利用してみたい旨の意向が寄せられる
  - また、教員ベースでは402名、学校事務部局ベースでは77校から、オンサイトの設置について関心がある旨の意向
- ⇒潜在的ユーザーへの周知や、今回得られたニーズを踏まえ、今後、オンサイトの展開やマイクロデータ利用促進の活動を実施



# 統計マイクロデータの提供

- ・マイクロデータ利活用促進のためには、ユーザーがマイクロデータの利用に関して知りたい情報を容易に入手できる環境の整備が重要  
⇒統計データ利活用センターが、マイクロデータ利活用の中心地として、また、ユーザーとのインターフェースの役割を担う組織として、ユーザーの利便性向上のための各種取組を実施

## これまでの取組・成果

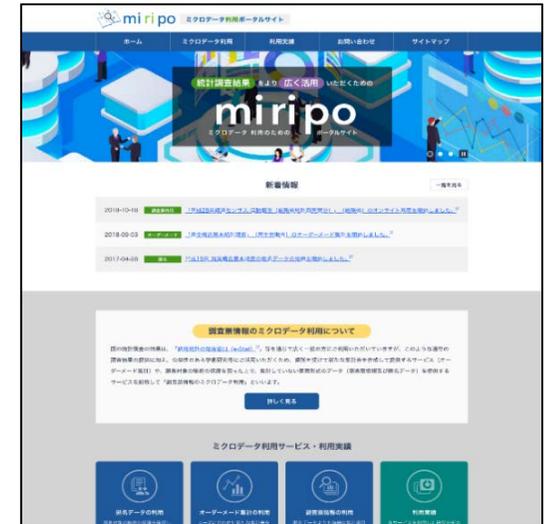
- これまでは存在しなかった、マイクロデータ利用に関する様々な情報が一元的に入手できる政府ポータルサイトを、総務省政策統括官（統計基準担当）と協力し、新たに立ち上げ

（令和元年5月1日開設）

ポータルサイトには

- ・利用の流れに関する説明、各種申請書類、FAQ
- ・各府省の利用可能なデータ一覧※
- ・利用実績 などの情報を収録

※ 現在、総務省統計局所管調査、経済産業省所管基幹統計調査、内閣府所管調査（2調査）、厚生労働省所管調査（6調査）、財務省所管調査（1調査）、国土交通省所管調査（3調査）、環境省所管調査（6調査）が利用可能。  
下線部は利活用センター開設後に新たに利用可能になったデータ



（ポータルサイトイメージ）

- ユーザーニーズの高い情報については、ポータルサイト立ち上げ前から、整理・取りまとめ・関係府省と調整の上、利活用センターホームページを通じて公開（利活用ガイド、調査事項一覧）

# 統計マイクロデータの提供

- ・統計マイクロデータの利活用促進に向け、オンサイト利用を補完・発展させるデータサービスの開発を進める必要
- ・諸外国の取組も参考に、我が国の利用環境の向上に取り組む

## これまでの取組・成果

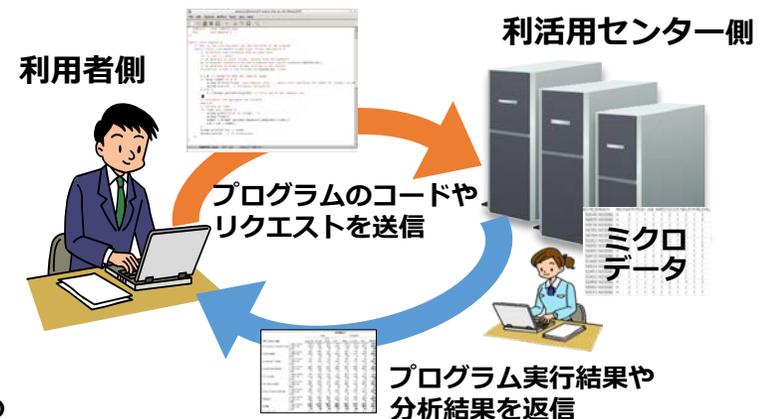
- オンサイト利用を補完する、研究室からのマイクロデータ利用の形態について、以下の2つのプロジェクトを実施
- 和歌山大学 大井達雄教授の御協力の下、研究室に検証環境を構築

・利用者側が効率的に作業を行うために必要となる情報（プログラム作成のためのダミーデータなど）の整理や、分析結果の内容確認・審査に係る時間短縮の必要性などの課題を抽出

- 諸外国統計局（欧州連合（EU）統計局、オランダ統計局、ドイツ連邦統計局、カナダ統計局、オーストラリア統計局）に対し状況調査を実施

・簡易な集計表の作成や分析について、利用者が研究室からオンデマンド実行できる仕組みや、情報安全性の確保のための秘匿技術、審査の自動化などの状況を把握

⇒引き続きマイクロデータ利用環境の発展に取り組み



# データサイエンス・EBPMに 資する統計データ利活用推進・支援

データ利活用の先進事例を創出するための研究、地方公共団体への統計データ利活用支援等、データサイエンス・EBPMに資する統計データ利活用を推進

- ・地方公共団体と共同研究を行い、行政データや民間データを統計データと組み合わせて活用し、行政課題を解決する取組を進め、データ利活用のリーディングケースを創出

## これまでの取組・成果

- 和歌山県・和歌山市とともに、東京大学 秋山助教（空間情報科学研究センター）との共同プロジェクトを開始。（元年6月 連携協定締結）  
空き家問題に関し、空き家の分布推定手法や、将来の分布予測等に係る研究を実施中
- 国勢調査や住宅・土地統計調査の統計ミクロデータに加え、行政データ（住民基本台帳、建物登記、水道開栓情報など）を活用
- 市行政データの利用にあたっては、条例に基づく利用手順を経る必要。市情報公開・個人情報保護審査会において、平成30年10月～12月にかけて審議（昨年答申）  
⇒データの利活用にあたっては、分析等を行う前の段階として、情報保護の観点を踏まえたデータ利用環境の整備が重要。  
今回の審議・手順を踏まえ、今後の各地での展開に応用

資料提供



|     |                |
|-----|----------------|
| 担当課 | 企画課            |
| 担当者 | 吉田、影山          |
| 電話  | (073) 455-1015 |
| 内線  | 2445           |

令和元年6月26日

総務省統計局、独立行政法人統計センター、和歌山県、和歌山市  
及び国立大学法人東京大学がデータ利活用に係る  
連携協力に関する協定を締結しました



# データサイエンス・EBPMに 資する統計データ利活用推進・支援

データ利活用の先進事例を創出するための研究、地方公共団体への統計データ利活用支援等、データサイエンス・EBPMに資する統計データ利活用を推進

- ・地方公共団体からのデータ利活用に係る相談に対応し、利活用支援を進めるとともに、データ利活用の取組モデルを構築

## これまでの取組・成果

- 地方公共団体（兵庫県加古川市）からのデータ利活用相談への対応として、同志社大学宿久研究室とともに共同研究を実施
- 加古川市が保有する公用車走行データを活用
  - （ 公用車に掲載されたスマホアプリから、走行中の緯度経度や加速度データを把握 ）
- 走行データの分析により
  - ・地面のひび割れ、コンクリートのつなぎ目等の道路保全に係る情報
  - ・危険・安全運転状況、危険運転箇所の情報などを検出・視覚化することが可能に
- 今後の精度検証は要するものの、非常に安価、かつ職員において内製化できる形での利活用モデルを構築。各地への展開・導入が可能に



①地面のひび割れ

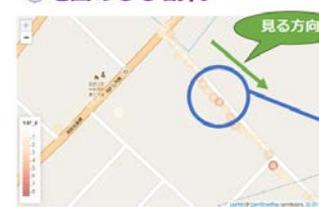


図.東神古町神古周辺3



図.2013年3月時点でのGoogleストリートビュー

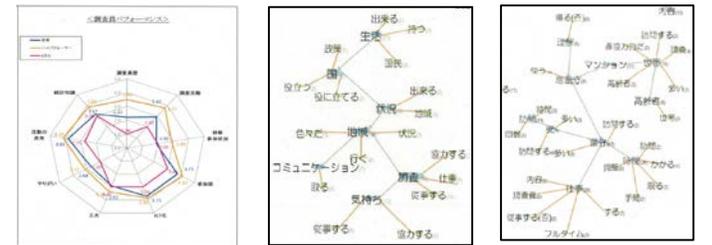
# データサイエンス・EBPMに 資する統計データ利活用推進・支援

データ利活用の先進事例を創出するための研究、地方公共団体への統計データ利活用支援等、データサイエンス・EBPMに資する統計データ利活用を推進

- ・統計データ利活用センターの開設により、和歌山県を中心とした近畿圏の地方公共団体における統計データ利活用が活性化。これら地方公共団体と連携しEBPMの推進を加速化

## これまでの取組・成果

- 滋賀県において、EBPMモデル事業として「女性の年代別労働力率（M字カーブ）の落ち込みの要因分析」を滋賀大学と連携して実施。統計分析を通じた主要要因の抽出や各県との比較を行う手法を整理・実践
- 京都府において、統計調査員として求められる行動特性を調査分析し指標化することで、高い業績・成果につながる特性を把握し、採用や育成方法の検討に反映
- 徳島県において、徳島大学をはじめとする産学官連携によるデータに基づく政策立案を担う共同研究体制を構築  
第一弾として、あらゆる施策の基礎となる「人口移動」についてEBPMのモデルを研究（統計データ利活用センターのオンサイトにおいて国勢調査のマイクロデータを活用）



EBPMのモデル分析研究による各施策へのデータ活用の促進

# データサイエンス・EBPMに 資する統計データ利活用推進・支援

データ利活用の先進事例を創出するための研究、地方公共団体への統計データ利活用支援等、データサイエンス・EBPMに資する統計データ利活用を推進

- ・地方公共団体からのデータ利活用に係る相談に対応し、利活用支援を進めるとともに、データ利活用の取組モデルを構築

## これまでの取組・成果

- 地方公共団体のためのデータ利活用支援サイト（Data StaRt データ・スタート）を構築（元年5月開設）
- 地方公共団体における優れたデータ利活用の取組を紹介するほか、統計データ・EBPMに関する有識者によるポイント解説  
また、アドバイザーへの相談窓口や、視覚化ツール、学習サイトなどを紹介
- データ利活用をはじめるための第一歩を様々な情報面から支援



自身体  
における  
先進事例

EBPM  
活用塾  
専門家による  
レクチャー

研究・相談  
ツール  
紹介

# データサイエンス・EBPMに 資する統計データ利活用推進・支援

データ利活用の先進事例を創出するための研究、地方公共団体への統計データ利活用支援等、データサイエンス・EBPMに資する統計データ利活用を推進

- ・地方公共団体からのデータ利活用に係る相談に対応し、利活用支援を進めるとともに、データ利活用の取組モデルを構築

## これまでの取組・成果

- 統計データを活用した行政サービスの改善や行政施策の立案等、優れた取組を進める地方公共団体を表彰する「Data StaRt Award 地方公共団体における統計データ利活用表彰」を実施
- 全国から44件の取組の応募があり、第1次・2次審査を実施。最終審査を経て、10月18日（統計の日）に受賞団体を発表
- 総務大臣賞、統計局長賞等の他、優れた取組を「Data StaRt（地方公共団体のためのデータ利活用支援サイト）」に掲載し、地方公共団体の参考となる取組を広く周知・共有



# データサイエンス・EBPMに 資する統計データ利活用推進・支援

データ利活用の先進事例を創出するための研究、地方公共団体への統計データ利活用支援等、データサイエンス・EBPMに資する統計データ利活用を推進

- ・統計データの活用に加え、官民が保有するビッグデータを活用することで、地方公共団体における行政課題解決のための新たなモデルの作成を目指す

## これまでの取組・成果

- 産官学の有識者・実務家からなる検討会を昨年度12月～3月に4回開催

- 観光、防災、産業振興などの分野に関し、ビッグデータと統計データを組み合わせて目標指標の設定や施策への活用を行うモデルを構築

### 【検討会メンバー】

- (学) 和歌山大 大井達雄教授  
岡山大 中村良平教授  
東京大 岡田謙介准教授
- (産) 大阪ガス ビジネスアナリシスセンター  
岡村智仁センター長
- (官) 和歌山県データ利活用推進センター  
中内啓文センター長  
京都市情報化推進室 井上景介課長補佐  
事務局：三菱総合研究所



■多様な行政課題【A】の解決に向けた政策プロセス【B】に対して、統計データの組み合わせ【C】のもとで、民間ビッグデータ【D】を活用することで、詳細な実態把握や分析等を行う取り組み「利活用モデル【E】」を提案

| 【A】行政課題         | 【E】利活用モデルの概要                           |
|-----------------|--|
| 【1】訪日等観光の集客力の強化 | 移動体情報、SNS情報、統計データ等の解析による集客戦略の策定        |
| 【2】帰宅困難者対策      | 夜間人口に加え昼間人口（移動体情報）を対象とした地域防災対策の策定      |
| 【3】中小企業振興       | 企業情報、統計データの解析による地域企業振興策の検討             |
| 【4】マーケティング支援    | 顧客情報、販売情報、統計データ等のマーケット情報の包括的なデータベースの構築 |
| 【5】拠点性の強化       | 夜間人口に加え昼間人口を想定したコンパクトシティ対策（拠点性の強化）の検討  |
| 【6】土地活用の促進      | 土地情報（空き地・空き家など）の包括的なデータベースの構築          |
| 【7】EBPMの推進      | EBPM（ベータベース・データ解析）のためのダッシュボードの構築       |



|         | 【C】統計データとの組み合わせ手法                       |
|---------|---|
| ①データ補正  | ビッグデータがサンプル調査の場合、統計データ等を活用して、母集団推計を行う。  |
| ②クロス分析等 | ビッグデータと統計データを一元（データベース）化し、データ間の関係性分析する。 |
| ③統合型GIS | ビッグデータと統計データを地図情報上に重ね合わせて可視化する。         |
| ④データ照合  | ID情報等を活用して、ビッグデータと統計データをデータ照合する。        |

| 【D'】統計データ         |
|-------------------|
| 【D】民間ビッグデータ       |
| 企業                |
| 顧客                |
| 販売（POS、カード、Eコマース） |
| 移動体（移動、走行）        |
| 空間                |
| SNS               |
| 検索                |

# データサイエンス・EBPMに 資する統計データ利活用推進・支援

データ利活用の先進事例を創出するための研究、地方公共団体への統計データ利活用支援等、データサイエンス・EBPMに資する統計データ利活用を推進

- ・地方公共団体においてデータ利活用を推進する担当者に対する支援を行うとともに、利活用を推進するための情報や意識の共有を図る

## これまでの取組・成果

- 都道府県統計主管課の統計データ利活用担当者が一堂に会する初めての会議（統計データ利活用担当者会議）を昨年度6月14・15日に開催（全国から50名参加）（本年度も7月に開催）
- 総務省統計局長による講演、地方公共団体でのデータ利活用実績を有する有識者（アクセンチュア（株）村重慎一郎氏）による講演、アドバイザーを交えた相談・意見交換会を実施

【有識者アドバイザー】

和歌山大 大井達雄教授、和歌山県立医大 下川敏雄教授、同志社大 宿久洋教授、岡山大 中村良平教授、近畿大 安孫子勇一教授

- 利活用推進のための課題、必要とされる取組として **人材面** **組織面** **データ面** の意見・ニーズが多く寄せられる  
⇒統計データ利活用センターでの取組に反映



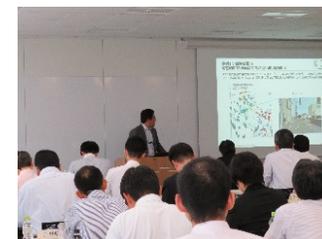
グループ別相談・意見交換会

|                |        |
|----------------|--------|
| 1 業務に大変役立つ     | 52.2%  |
| 2 業務に役立つ       | 41.3%  |
| 3 業務に役立つとはいえない | 4.3%   |
| 4 未回答          | 2.2%   |
| 合計             | 100.0% |

（事後アンケート結果 n=46）



千野統計局長講演



村重氏講演

# 統計データ利活用に関する人材育成

E B P Mに資する公務員向け研修会、ビジネスパーソンを対象とした統計オープンデータ活用の講習会の開催等、データサイエンススキルの裾野を広げる取組を展開

## これまでの取組・成果

- データサイエンススキルの基礎を学び、政策立案における統計データ利活用の促進を図ることを目的に、公務員向けの「統計データ利活用研修会」を7月に開催（統計研究研修との共催）（本年度も7月に開催）
- 「データサイエンティストに学ぶ統計データ分析の基礎」と題し、和歌山県立医科大学 下川敏雄教授によるデータ分析演習を実施  
あわせて、統計局、統計センター職員から、e-Stat や jSTAT MAPの活用方法を紹介
- 北海道から大分県まで、全国各地から50名が受講（85名の応募）
- また、試行的な取組として、佐賀県と連携し、佐賀県庁にサテライト会場を設置し、遠隔地へのライブ配信を実施



研修の様子



佐賀県サテライト会場

受講者募集のお知らせ

### 統計データ利活用研修会

～ データサイエンティストに学ぶ統計データ分析の基礎 ～

日時 2018年7月18日(水)10:00-16:00

場所 統計データ利活用センター 大会議室  
和歌山県和歌山市東蔵前丁3-17 南海和歌山市駅ビルオフィス5階5号

【対象】 地方公務員(都道府県、市区町村の職員)及び国家公務員  
【募集定員】 50名(応募者多数の場合、調整させていただきます)  
【募集〆切】 7月4日(水)

統計データ利活用に関する人材育成の一環として、データサイエンススキルの基礎を学び、政策立案における統計データ利活用の促進を図ることを目的としています。

午前の部 10:00～12:30

10:00～10:20 国におけるデータ利活用の現状(講義)  
講師 統計データ利活用センター 谷道 正太郎

10:20～10:50 e-Statの紹介(演習)  
10:50～12:30 jSTAT MAPの紹介(演習)  
講師 総務省統計局統計情報システム管理官室  
独立行政法人統計センター共同利用システム課

政府統計データを有効活用するための基本的な知識として、政府統計の総合窓口であるe-Stat、e-Statの地理情報システムであるjSTAT MAPの使い方を学びます。

午後の部 13:30～16:00

統計データ分析の演習  
～ 政府統計(e-Stat) データを用いたエクセルによるデータ分析の演習 ～

講師 和歌山県立医科大学教授 下川 敏雄

略歴 1999年 慶応大学総合理工学部総合情報科学科卒業  
2004年 大阪大学大学院基礎工学部研究科  
情報数理学専攻修士後期課程修了  
和歌山県立医科大学大学院医学研究科  
医療データサイエンス学 教授  
臨床研究センター副センター長

総務省統計局 統計研究研修所 統計センター

# 統計データ利活用に関する人材育成

統計データ利活用センターでは、官学産とのネットワークを構築していく中で、地方公共団体における研修会や学術分野の研究会などで講演等を行い、データ利活用の活性化やデータリテラシーの向上にむけた取組を実施

## これまでの取組・成果

- 統計データ利活用センターと地方公共団体等が連携し、各地において開催されるデータ利活用やEBPMに関する研修・セミナーに対し、統計データ利活用センターから講師を派遣するなどの支援
- 昨年度は13の地方公共団体等と連携し、研修・セミナーには計600名以上が参加

|      |                            |            |  |
|------|----------------------------|------------|--|
| 和歌山県 | データ利活用研修会（12月）など           | 長崎県        | データ活用・分析のための実務研修会（2月）                    |
| 大阪府  | EBPMに資する統計データ利活用統計研修（8月）など | 大分県        | パソコンを用いた統計分析研究会（11月）                     |
| 奈良県  | 統計データ利活用セミナー（9月）           | 京都市        | データサイエンス・統計リテラシー研修（1月）                   |
| 兵庫県  | 兵庫県統計活用セミナー（11月）           | 神戸市        | 神戸市データアカデミー（統計コース）（11月）                  |
| 京都府  | 統計データ利活用研修（2月）             | 加古川市       | 統計講習会（5月）                                |
| 滋賀県  | 専門統計研修（9月）など               | 関西広域<br>連合 | 政策形成能力研修「統計的思考・エビデンスに基づく政策立案について」（11月）など |
| 愛知県  | 地方統計職員業務研修（8月）             |            |  |

# 統計データ利活用に関する人材育成

社会生活のあらゆる場面で統計データが利用されるようになり、統計データを正しく読み解く力が社会全体で必要となっていることを踏まえ、統計データ利活用センターでは、幅広い層の統計リテラシーの向上に取り組み

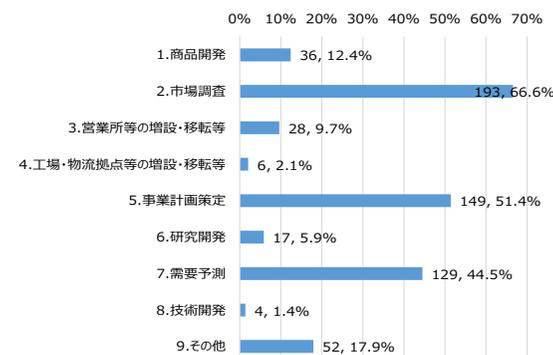
## これまでの取組・成果

- 社会における統計リテラシー向上のための取組として、より実践的なデータ利活用人材の育成を図るため、関西圏の民間企業における政府統計データの利活用の状況やデータ分析の状況などを把握



11社からヒアリング  
2261社から御回答

- ・市場調査や事業計画の策定、需要予測の場面においての利活用が比較的多い
- ・時系列分析、単純・クロス集計といった分析手法が多く、回帰分析・多変量解析まで行われていることは多くないなど



政府統計データの利用場面について

⇒人材育成の取組として、今後、利用の多い状況を基にした入門的内容（全体の底上げ）や、現状は利用が少ないものの課題発見・解決手段の広がりを目指すために必要な内容（更なるスキルアップ）など、より実践的な内容を展開

# 統計データ利活用に関する人材育成

社会生活のあらゆる場面で統計データが利用されるようになり、統計データを正しく読み解く力が社会全体で必要となっていることを踏まえ、統計データ利活用センターでは、幅広い層の統計リテラシーの向上に取り組み

## これまでの取組・成果

- 和歌山県と共催で「キッズ統計プログラミング」を10月に開催  
(本年度も7月に開催)
- 午前の部（小学3、4年生）、午後の部（5、6年生）の2回に分けて開催し、45名の子供たちが参加  
〔オリジナルのゲームを作成し、その得点をグラフ化して傾向を読み取ることで、統計やプログラミングを学習〕
- 昨年の経験を踏まえ、本年度は統計データ利活用センターを拠点として全国展開（12箇所で開催）



目指せ!未来のデータサイエンティスト! 主催: 総務省・和歌山県・和歌山県統計協会

### キッズ統計プログラミング

in和歌山

**参加無料** 8月24日(金)

【午前の部】9:00~12:00 (3・4年生対象)  
【午後の部】13:30~16:30 (5・6年生対象)

実験データの集計やグラフ化を通して、プログラミングの基礎を楽しく学ぶことができます。  
パソコンにさわったことがなくても大丈夫! みんなでチャレンジしよう!

**開催場所**  
南海和歌山市駅ビル 5階  
(和歌山市東駅前丁3-17)

**募集定員**  
小学校3・4年生、5・6年生と  
それぞれの保護者 各30組  
(応募多数の場合は先着順となります)

**募集期間**  
7月31日(火)まで  
(申込方法は裏面をご覧ください)

【お問い合わせ・申込先】  
和歌山県 企画部 企画政策局 調査統計課  
電話: 073-441-2397 FAX: 073-441-2386  
e-mail: e0203001@pref.wakayama.lg.jp

# 統計データ利活用に関する人材育成

Society5.0など新たな時代を見据え、データから価値を創造するデータサイエンス分野の人材育成やその実践が急務

その中で、総務省統計局、統計センター、和歌山県及び国立大学法人和歌山大学の四者※が連携し、我が国のデータサイエンス分野の発展に資する和歌山モデルの構築に取り組む

※総務省統計局・統計センターは「統計データ利活用センター」を、和歌山県は「和歌山県データ利活用推進センター」を和歌山大学は「データ・インテリジェンス教育研究部門」をそれぞれ30年4月に開設

## これまでの取組・成果

- 30年12月に和歌山県データ利活用推進センターにおいて、**データサイエンス分野における連携協力に関する協定締結式を実施**（統計局長、統計センター理事長、和歌山県知事、和歌山大学学長が出席）

### 【連携協力事項】

- 1 データサイエンス人材の育成及び教育開発
- 2 データ利活用に関する研究開発
- 3 その他データサイエンス分野の発展に必要な事項

- また、締結式終了後には、和歌山大学において、データサイエンスセミナーが開催され、統計局長講演、統計データ利活用センターの取組紹介、和歌山県データ利活用推進センター研究員による講義を実施



# 統計データ利活用に関する人材育成

統計データ利活用センターと学界等との連携を推進することにより、アカデミアの専門性や経験を活かした統計データ利活用を推進

## これまでの取組・成果

- 和歌山県・滋賀大学との間でデータサイエンス推進に関する連携協定を締結（昨年11月）
- 和歌山開催の経済統計学会及び日本地理学会において、データ利活用に関する特別セッションを設置（30年度）
- 学界との人材ネットワークを構築（和歌山大及び和歌山県立医大の教授を研究員に任命、共同研究への大学教授の参画）
- 学術研究者を対象とした研究会等において講演

（昨年度実績）

- 経済統計学会（4月、9月）
- マイクロデータ研究コンソーシアム（8月）
- 日本地理学会（9月）
- 日本計算機統計学会若手セミナー（9月）
- 京都大学研究会（10月）
- マイクロジオデータ研究会（10月）
- 一橋大学研究会（11月）
- 神戸大学研究会（1月）



# 統計データ利活用センターの取組について

## 新しい働き方

- web会議の積極的な活用により、遠隔とも緊密な連携や意思疎通  
(昨年度実績：年間240回)
- フリーアドレスや壁面ホワイトボードによる、職場全体のコミュニケーションの活性化や情報共有の促進
- ペーパーレスを進め、立ち会議の実践や集中エリアの設置などにより、省力化・効率化を図りスペースや時間の有効活用



# 統計データ利活用センターの取組について

## 視察の様子

- 統計データ利活用センターには産官学から多くの視察（年間70回以上）
- 諸外国からの関心も高く、以下の海外からの視察団等が和歌山に来訪。
  - ・中国国家統計局長（大臣級）
  - ・エジプト中央動員統計局職員
  - ・ネパール国 中央統計局能力強化プロジェクト研修（JICA）参加者



中国国家統計局長（中央）



エジプト中央動員統計局



ネパール中央統計局



梶山地方創生担当大臣（当時）

# 統計データ利活用センターの取組について

## 開設1周年記念シンポジウム

- 開設1周年を記念し、昨年7月にシンポジウムを和歌山県と共催で実施
- 大西政務官、仁坂知事の主催者挨拶、和歌山県議会議長の来賓挨拶の後、
  - ・統計データ利活用センター・和歌山県データ利活用推進センターの取組状況の紹介
  - ・基調講演として、ヤフー株式会社 チーフデータオフィサー(CDO)佐々木潔 氏
  - ・産学官からのプレゼンテーションとして、デコム 松本健太郎 氏  
東京大 秋山祐樹 助教  
統計局 千野雅人局長
- 国・和歌山県・各地方公共団体、民間、アカデミアから、計300名を超える参加者



シンポジウム会場の様子



大西政務官・仁坂知事による主催者挨拶



各講演・プレゼンテーション

# 和歌山からデータ利活用を発信！



## 統計データ利活用センター

〒640-8203

和歌山県和歌山市東蔵前丁3-17 南海和歌山市駅ビルオフィス棟5階

TEL: 073-425-0205 E-mail: g-rikatsuyou@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/rikatsuyou/>